

V 診療業務概要・活動報告

総合内科

1. 概要

高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病は狭心症や心筋梗塞等虚血性心疾患の強力な危険因子である。総合内科ではこれまで特に糖尿病をメインに、さらに内臓脂肪の過剰蓄積・耐糖能障害・高血圧・高中性脂肪血症をあわせもつメタボリックシンドロームも含めて診療を行ってきた。

1996年来、総合内科では糖尿病・耐糖能障害、高血圧症、脂質異常症等の外来診療と糖尿病体験入院を行ってきたが、糖尿病・内分泌内科新設にともなって、2010年4月より総合内科の入院病床はなくなった。現在、糖尿病外来や教育入院等の糖尿病診療は主に糖尿病・内分泌内科にて行われている。

2010年4月以降は、新規を除く糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症等の外来診療を継続するとともに、原因不明の発熱、専門科に振り分けられない初診患者の診療を行っている。

(部長 鳥居 俊男)

2. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	7,526人	年間外来新患者数	1,456人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

座長・司会（医局）

<総合内科>

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	司会	子宮がんに対する最新の治療法について	鳥居 俊男	第65回豊橋市民病院健康教室	豊橋市	2017/2/18	
2	司会	肝臓病について - 肝炎から肝がんまで -	鳥居 俊男	第66回豊橋市民病院健康教室	豊橋市	2017/9/9	